

**三遠南信自動車道(水窪北～佐久間)  
計画段階評価**

**中部地方小委員会の進め方**

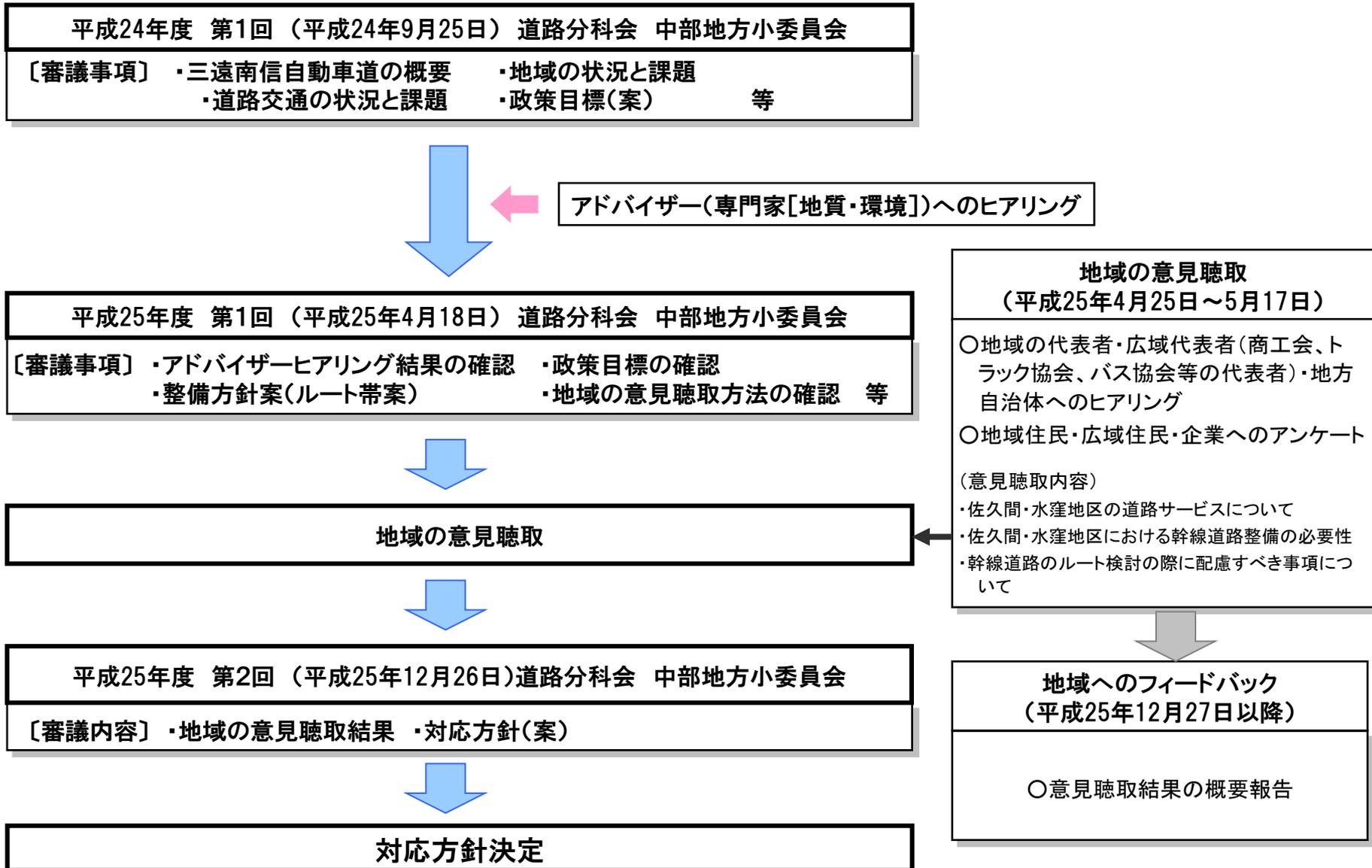
**平成25年12月26日**

**国土交通省 中部地方整備局**

# 目次

- 1 計画段階評価の流れ ..... 1
- 2 平成25年度第1回中部地方小委員会の概要 ..... 2
- 3 本日の論点 ..... 4

# 1. 計画段階評価の流れ



# 2. 平成25年度 第1回 中部地方小委員会の概要

## ◆中部地方小委員会開催状況

平成25年度 第1回中部地方小委員会 平成25年4月18日開催

## ◆主な議事

- ・アドバイザーヒアリング結果の確認
- ・政策目標の確認
- ・整備方針案(ルート帯案)
- ・意見聴取方法の確認

## ●平成25年度 第1回中部地方小委員会での主な指摘事項と対応状況

主な指摘事項		対応状況
ルート帯案 について	・信頼性、リダンダンシー、道路機能等、政策目標の達成度が分かるように整理した方が良い。	・政策目標の達成度について、ルート帯案の比較を実施。 → 資料3 P9参照
	・整備効果については、案①～③全てにおける整備効果を提示して欲しい。	・対応方針(案)資料の【3. ルート帯案の整備効果】にて対応。 → 資料3 P3～8参照
	・物流の整備効果においても、輸送の信頼性について強調すべき。	・アンケート時は、ルート帯案の比較に「物流の向上」として、輸送の信頼性に関する評価を追加するとともに、「災害時の適応性」は、災害時の代替性を考慮した評価に変更し、3つの案に差をつけて評価した。 → 次ページ参照 ・今回の対応方針(案)では、「物流の効率性、代替性向上」として、3つの案の輸送の信頼性について差をつけて評価した。 → 資料3 P9参照
意見聴取 について	・意見聴取の結果から、どのルート帯が望まれているか分かるように整理して欲しい。	・ルート案を評価するための視点として、意見聴取結果において顕著なものを整理した。 →資料2 P5参照

# 2. 平成25年度 第1回 中部地方小委員会の概要

## 【アンケート説明文(抜粋)の修正内容】

### ●第1回小委員会資料 でのアンケート説明文

	【案①】全線別線整備案	【案②】現道改良+別線整備案	【案③】全線現道改良案
ルートコンセプト	全線を別線とし、より高い連絡速度を確保する案	防災上のリスクが少ない現道区間を活用し、よりコストを安価に課題解消を図る案	全線において、既存の現道を改良し活用する案
区間延長(水窪北IC~佐久間IC)	約21km(別線)	約7km(現道改良)、約14km(別線)	約27km(現道改良)
災害時の適応性	現道の外帯区間を別線にしているため、災害に強い	現道の外帯区間を別線にしているため、災害に強い	中央構造線と2回交差し、水窪市街～佐久間市街で地質の不安定な外帯を通過
医療施設への到達性	天竜消防署水窪出張所～聖隷三方原病院間の所要時間 約24分の短縮(約78分→約54分)	天竜消防署水窪出張所～聖隷三方原病院間の所要時間 約24分の短縮(約78分→約54分)	天竜消防署水窪出張所～聖隷三方原病院間の所要時間 約6分の短縮(約78分→約72分)
生活利便の向上	水窪協働センター～浜松市中心市街地(市役所)の所要時間 約24分の短縮(約96分→約72分)	水窪協働センター～浜松市中心市街地(市役所)の所要時間 約24分の短縮(約96分→約72分)	水窪協働センター～浜松市中心市街地(市役所)の所要時間 約6分の短縮(約96分→約90分)
アクセシビリティの向上	佐久間協働センター～旧南信濃村役場の所要時間 約25分の短縮(約59分→約34分)	佐久間協働センター～旧南信濃村役場の所要時間 約31分の短縮(約59分→約38分)	佐久間協働センター～旧南信濃村役場の所要時間 約10分の短縮(約59分→約49分)
生活環境への影響	全線別線を整備するため、地域コミュニティに及ぼす影響は最も少ない	現道改良区間において、若干の支障家屋が発生するものの地域コミュニティに及ぼす影響は少ない	水窪市街～佐久間市街の現道沿いには集落が点在しており、家屋移転が多くなることからコミュニティ確保が困難
自然環境への配慮	詳細検討時の配慮と実績のある工事対応にて実施	詳細検討時の配慮と実績のある工事対応にて実施	既存の現道を改良するため、環境への影響は少ない
整備効果の発現	区間ごとの供用となるため、整備効果の発現までに一定の期間を要する	現道の改良を順次行うため、整備効果が早期から段階的に発現する	現道の改良を順次行うため、整備効果が早期から段階的に発現するが、地質が不安定な箇所において工事の長期化が懸念される
概算事業費	約950億円	約740億円(別線:約620億円、現道改良:約120億円)	約770億円
整備イメージ			
凡例			

災害に対する強さのみで評価

### ●アンケート実施時の 説明文

	現況	【案①】全線別線整備案	【案②】現道改良+別線整備案	【案③】全線現道改良案
ルートコンセプト	—	全線を別線とし、より高い連絡速度を確保する案	水窪以北の現道区間を活用し、よりコストを安価に課題解消を図る案	全線において、既存の現道を改良し活用する案
区間延長(水窪北IC~佐久間IC)	約27km	約21km(別線)	約7km(現道改良) 約14km(別線)	約27km(現道改良)
災害時の適応性	外帯を通過するため災害に脆弱	別線を内帯に計画しているため、災害に強く、代替性に最も優れる	別線・現道改良を内帯に計画しているため、災害に強く、代替性に優れる	中央構造線と2回交差し、水窪市街～佐久間市街で地質の不安定な外帯を通過しており、代替性は確保されない
医療施設への到達性	天竜消防署水窪出張所～聖隷三方原病院間の所要時間 約78分	約54分(約24分短縮)	約54分(約24分短縮)	約72分(約6分短縮)
生活利便の向上	水窪協働センター～浜松市中心市街地(市役所)の所要時間 約96分	約72分(約24分短縮)	約72分(約24分短縮)	約90分(約6分短縮)
アクセシビリティの向上	佐久間協働センター～旧南信濃村役場の所要時間 約59分	約34分(約25分短縮)	約38分(約21分短縮)	約49分(約10分短縮)
物流の向上	輸送の信頼性が低い	災害に最も強く走行性の高い別線を整備するため、 <u>輸送の信頼性は最も高い</u>	別線・現道改良区間は災害に強く、比較的高い走行性が確保されるため、 <u>輸送の信頼性に優れる</u>	別線整備に比べ走行性に劣り、地質の不安定な外帯を通過するため、 <u>輸送の信頼性に劣る</u>
生活環境への影響	現道沿線に集落が分布	地域コミュニティに及ぼす影響は最も少ない	若干の支障家屋が発生するものの地域コミュニティに及ぼす影響は少ない	家屋移転が多くコミュニティ確保が困難
整備効果の発現	—	整備効果の発現までに一定の期間を要する	現道の改良を順次行うため、政策目標を最も早期に実現可能	現道改良を順次行うため、整備効果は早期から発現するが、長期的な効果に不安が残る
概算事業費	—	約950億円	約740億円(別線:約620億円、現道改良:約120億円)	約770億円
整備イメージ	—			
凡例	—			

災害時の代替性を考慮した評価に変更

輸送の信頼性に関する評価を追加

# 3. 本日の論点

## ●地域住民等からの意見聴取について(資料2)

- ・ヒアリングやアンケート結果など、地域の意見を十分聴取できているか。
- ・意見聴取のとりまとめについて妥当か。

## ●対応方針(案)について(資料3)

- ・政策目標を踏まえたルート帯の検討がされているか。
- ・対応方針(案)は地域の意見聴取結果を踏まえたものとなっているか。